

ハッピー 通信



本部 〒890-0032 鹿児島市西陵1丁目8-7 TEL 099-282-7408 FAX099-296-1733 (事務局 TEL 099-283-6120)



新年、あけましておめでとうございます。

二〇二四年の念頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当法人も二〇〇六年の設立から、今年で十八年目を迎えようとしています。

その間、一歩ずつ積み上げてきた実績が実を結び、落ち着いた環境施設になって参りました。当法人は、明るく・良い職員に恵まれ、地域の方々の温かい支えもあり、おかげさまで大きな事故もなく過ごすことができました。これも職員・皆様のご指導・ご協力があったることと感謝しています。

今年、改めて原点回帰し「誰もが安心して暮らし・学びあえる社会を築こう」と続けてきた私たち法人の取り組みを再認識して、未来永劫法人を継続していく為にはどうしたらいいかをみんなで考え、話し合い再構築して行く年に行きたいと思っています。

また、「私達が地域に貢献できることは何か。」を考え、支えてもらうだけでなく「内から外へ」へ目を向けていくことも大切だと思います。

利用者は、日々着実に成長していています。職員方々の支援の成果が表れるのはもっと後かもしれません。利用者の気持ちに寄り添い、利用者の真の望みに一歩でも近づくことができるよう支援する事です。

これを忘れずに、日々の支援に生かしてこれからもみんなと共に手を取り合って前に進んでいきましょう。

私たちが目指している「誰もが安心して生きられる社会」とは、互いがお互いの違いを認め合い、互いに尊重しあえる関係を築くことにほかなりません。

スクラム発足時から、親の会を中心に「みんなが歩けば道になる」と歩き続けてきています。もう一度原点に立ち帰りみんなが次に繋げる一年にしましょう。

子育てサポートどんぐり

昨年の5月から、コロナが5類に移行になり、子育てどんぐりでも少しずつ緩和を行い、活動や行事を通して、再び、地域の方々や保護者の方々との交流の場を再開しています。

～地域の方々に見守られる安心～

以前より、温かく見守って下さる地域の方々ですが、スポーツDAYも近くなり、本番に向けて公園で、かけっこ練習をしていると、買い物帰りに足を止め、微笑みながら子ども達の様子を見守っていて下さったり、横断歩道を渡る際には、時間を要する時もあるので“お先にどうぞ”と合図をしても、車を止めて「いいのよ。渡って」というように返して頂き、子ども達が渡る姿を笑顔で待っていて下さったりと有難い心遣いに感謝です。

また、先日は西陵地域で子ども食堂をされている『茫洋(ぼうよう)』さんを土曜活動で、利用させて頂きました。お昼が近づき「お腹すいたね～」と言いながら茫洋さんへ。すると、お店の人も入口で待っていて下さり、すぐにお弁当をもらい、子ども達にお菓子の詰め合わせも頂きました。子ども達はお弁当もさることながら、お菓子の釘付け(笑)ここでも、お店の方の温かい心遣いに感謝でした。美味しお弁当とお菓子は、公園でおいしく頂き、心もお腹もいっぱい!



～待ちに待った!親子スポーツDAY～

みんなで子ども達の成長を確かめあう場として開催している『どんぐりスポーツDAY』も今年はようやく親子開催を行う事ができ、たくさんの方々にご参加頂きました。2年ぶりに親子で開催出来るというところでは、“親子で楽しんで欲しいな”という願いのもと、スタッフ間で種目を考えました。

年長・年中さんは、親子で美味しいお寿司に変身!!寿司ネタに変身した子ども達は、温かいシャリにおんぶされてニッコニコでゴール。!(^^)!

そして、年少さん以下の子ども達は、親子でサファリパークに挑戦!!サル・ペンギン・ライオンにドキドキしながらも、パパ・ママと一緒に1つ1つのミッションを見事にクリアして、「ハイ、ポーズ」といい笑顔。(^^)v

きっと、どの子も練習以上にドキドキや不安があったと思います。でも、そのドキドキしながらも一所懸命に頑張る子ども達の姿を近くで優しく、そして、暖かく見守ってくれるご家族やその他の保護者の方々の存在は、子ども達にとって大きな力となり、褒められることで更なる自信にも繋がったと思います。

少しずつではありますが、以前のような交流の場が戻りつつあります。

今後も色々な交流を深めながら、皆さんと一緒に子ども達の成長を見守っていかれたらと思います。

(文責:矢野)

令和5年度 どんぐりスポーツDAY



開会宣言



えいえいお～

親子体操



綱引き (父 VS 母&子)



かけっこ



親子競技



放課後等デイサービス スクラム

～表情が見える素晴らしさ～

おやつを向き合って食べられるようになりました。人と一緒に同じものを食べる。お互いの顔を見ながら食べる。その中で、他愛のない会話を楽しみ、今日のおやつについて共感し合う。そんな温かいおやつタイムが戻ってきています。マスクをしておしゃべりをしなくても大丈夫になりました。目元しか見えない表情の中で、お互いの気持ちを察し合うのって、意外と難しいんだなと思いつつながらのマスク生活でしたが、今では笑顔いっぱい、時には悔しさ、悲しさいっぱいの子どもの顔が見られて、安心する日々です。

～会って話せる安心～保護者会・交流企画

今年度のスクラムは親御さん同士の交流の場づくりを大事にしています。コロナ禍を経て改めて親御さん同士の語らいの場の必要性和願いの高まりを感じての取り組み再開でした。職員と親御さんの共同企画で“保護茶会（おしゃべり交流会）”を開催。スクラムっ子の家族も含めた交流企画も以前と比べ気兼ねなく賑やかに開催することができました。毎回お母さん同士のおしゃべりは尽きることがありません。顔を合わせてお互いの「本当」を感じ合いながら意見を交換することで本当の意味での信頼関係や共に頑張ろうという意欲が湧き上がるような思いもしています。コロナ禍が反面教師として教えてくれた人と顔を向き合わせて話す大切さを噛みしめながら、人と人との繋がりを大事に、そしてその繋がりを事を動かすパワーに変えられるスクラムでありたい、ハッピーでありたいと考える今日この頃です。（文責：森）

集まる楽しみ♪喜び♪再び♪



親子で竹灯籠づくり
～家族親睦会～



みんなで焼き芋・豚汁づくり
～焼き芋交流会～



夏休み流しそうめん大会
～竹の準備から取り組みました～

地域の中で、共に



10月西陵福祉館で“福祉の集い”が開催されました。西陵地域の民生委員さんと福祉事業所が協力し開催している集いです。今年は数年ぶりの開催。スクラムも作品展示という形で参加しました。嬉しい感想を多数いただき、物作りや表現する事を楽しみながら育ちゆくスクラムの子ども達の存在・思いを発信できたのではないかと感じました。

11月にはスクラムの清掃活動に西陵地域の民生委員さん方が来てくださいました。子ども達が遊ぶ庭の木々を剪定し、日頃、後回しになりがちな細かい部分までピカピカにしてくださいました。

縁あって西陵という地域を同じくする方々と出会い支えられています。地域の方々と共にある安心感そして、共に育ち合うこともできるスクラムでもあることを再認識しています。地域の中でお互いを知り育まれていく安心感を社会全体の安心感へとつなげていけたら・・・そうねがっています。（文責：児玉）



サポートセンター 開

「改めて感じる人と人のつながりの大切さ」

～開マルシェ復活!!～

約4年ぶりにサポートセンター開に戻ってきた「開マルシェ」。今回は、開の保護者やなかまたちを中心に、法人内の各事業所スタッフ、各事業所を利用されている方、そしてイベントをしている風景を見て立ち寄ってくださった地域の方々など、多く参加していただき、大盛況で幕を閉じました。久しぶりにお会いし昔話に花を咲かせるなど、とても貴重な時間となったと同時に、「人と人のつながり」の大切さを改めて感じることでできた開マルシェとなりました。

また、今回駐車場をお借りするためにセイカ食品様へご挨拶にお伺いした際に、開の名前を出したところ「駐車場のすぐ隣の施設さんですよ」と私たち開の存在を知って頂いており、快く貸していただくことができ、改めて私たちの事をたくさんの方が見ているのだと感じました。

～地域の方々との繋がり～

サポートセンター開では、町内会の清掃作業などにも積極的に参加するようにしており、地域の方々との交流も行っています。

普段の活動で開のなかまたちが行っている「地域掃除」では、開周辺の道路のゴミ拾い、掃除を行う活動で、継続的に取り組んできたことで、通りがかった地域の方から「いつもありがとうね」や「マーケットは次はいつかな?またチラシ待ってるね」などと声をかけられることも多いです。掃除を通して自分たちが地域の一員だと感じる事ができる、地域の人とのつながりを感じる事ができる時間でもあります。

何かあったときに、手助けをもらう為だけに地域とつながるわけではなく、自分たちも地域の一員なんだという自覚をもって、自分たちで行動を起こしていくことで地域の方々にサポートセンター開という存在を知ってもらうこと、その繰り返しで地域と繋がり、開かれた事業所になっていくのではないかと思います。

今後も、町内会での活動に参加し、開マルシェや餅つきなどのイベントを開催しつつ、日ごろから地域の中で活動を行なうことで、サポートセンター開のことを知っていただきたいと思っています。

(文責:池田)



グループホーム ハッピー

「親亡き後の終の棲家として 地域で暮らす」を考える

～親たちの想いを受けて～

グループホームハッピーはNPO 法人立ち上げ時からの親たちの熱い想いが形になった施設です。重いハンディのある我が子が本人らしく、のびやかに地域社会の中で暮らしていけるこれまで共に育ちあったなかまと一緒に!安心して託せる施設に!!と願われ



た親御さん方の想いを受けて鹿児島市のはずれにある直木町に在ります。

朝は小鳥のさえずりでめざまめ、夜は満点の星空がきれいな場所です。昨今過疎化が進み利用者の方々と時折お茶畑の広がる小道を散策するのですが、住人の方々に会うこともほとんどありません。若い人たちは鹿児島市・日置市に働きに出て高齢者や空き家も目立つ地域です。バスや電車を利用したいと願っても難しい現状があります。



～地域の中でグループホームハッピーは何ができるのか～

ここで暮らしていくということを考える時に、もっと地域の方々とつながりを持ちたい、自分たちがいるということを知ってほしいという気持ちが芽生えてきました。

「よそ者、分からない人たち(障害者)」という認識から同じ地域の住民としての理解に繋がるよう、夢、展望を描いてみました。

そこで、『地域の中でグループホームハッピーは何ができるのか』を、自治会や民生委員、地域住民、公共機関の方々(近隣の警察署、消防署、学校など)と一緒に考えて地域交流を深めて行きたいと思えます。また、いずれは地域や社会のコミュニティの場として、グループホームの庭で育った野菜の販売会やバザーなどの活動もできたらいいなと願っています。

志は高く、グループホームハッピーは地域の方々との交流を深めることに力を注いでいきたいと思っています。(文責:戸木田)



はたふ



Q1 経歴を教えてください。

40歳で保育士を取得。それ以降スクラムで保育士として働いています。



Q2 なぜ NPO 法人ハッピーで働き、正職になろうと思ったのですか？

我が子2人が成人し、今なら“スクラムの子たちのためにもっとやれることがあるかも!!”と思い、正職に。あと、温かく迎えてくれたスクラムスタッフのおかげです。

<プロフィール>

名前: 古川さん
所属: 放課後等デイサービス スクラム
職名: 保育士
勤務年数: 6年
(非常勤5年、現在正職1年目☆)

Q3 大事にしている仕事内容を教えてください。

子ども達へ手作りおやつを出しています。台所に来て「今日、おやつ何?」、「お手伝いする!」と子ども達とのやりとりを大事に、温かいスープやできたての香りを届けられるように工夫しています。

Q4 この仕事をしていて感じる魅力を教えてください。

日々わからないことばかりで「ムリ!」と思うこともありますが、我が子と同じ様に接し、どんどん可愛く思えてくる子ども達。私を優しい気持ちにしてくれ、笑顔にしてくれる、そこが一番の魅力だと思います。

<プロフィール>

名前: 中村さん
所属: サポートセンター開 (生活介護事業所)
職名: 生活支援員
勤務年数: 1年目



Q1 何故開で働きだしたのですか？

ご縁があり、知人からの紹介で生活支援員という職種、そしてサポートセンター開を知りました。まずは週1回から働かせて頂き、運営方針である「心地よいと感じる居場所、雰囲気創り」をスタッフが心掛け、利用者さんの立場に立った姿勢に魅力を感じました。また仕事や余暇活動を通して利用者さん、スタッフとコミュニケーションをとる中で、私も働いていて心地よい環境だなあと感じ、皆さんの一員となり生活支援員としてさらに学びたいと思い、就職致しました。

Q2 実際に働いてみてどうですか？

新しい業務への取り組みに不安もありましたが、利用者さんに「こうするんだよ!」「出来る?」と心配してもらい事もあり…(笑)日々学ぶことが多いですが、自信いっぱい出来る事を伝えてくれる姿に嬉しく思います。また、利用者さんと少しずつ信頼関係が築けてお互いの距離が近く感じられることがとても楽しいです。

Q3 今後の目標を教えてください。

今は利用者さんにとってどのような支援が良いのか、色々な事を試したり、他の方のやり方を見て学んだりしているところですが、先輩方それぞれの良いところを取り入れつつ、今後は専門知識をもっと学び自分らしさを持っている支援者になりたいと思います。



教えて、ハッピー先生!! ~障害福祉サービスについて~



今回は、多種多様にある障害福祉サービスとは、どのようなものなのか?についてお話ししますね。

障害福祉サービス等の体系 (介護給付・訓練等給付)

| サービス内容 | | |
|--|-------|--|
| 訪問系 | 介護給付 | 居宅介護 (者 児) 自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う |
| | | 重度訪問介護 (者) 重度の肢体不自由者又は重度の知的障害若しくは精神障害により行動上著しい困難を有する者であって常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援、入院時の支援等を総合的に行う (日常生活に生じる様々な介護の事態に対応するための見守り等の支援を含む。) |
| | | 同行援護 (者 児) 視覚障害により、移動に著しい困難を有する人が外出する時、必要な情報提供や介護を行う |
| | | 行動援護 (者 児) 自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行う |
| | | 重度障害者等包括支援 (者 児) 介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行う |
| 日中活動系 | 施設系 | 短期入所 (者 児) 自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含めた施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う |
| | | 療養介護 (者) 医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話をを行う |
| | | 生活介護 (者) 常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する |
| 居住支援系 | 施設系 | 施設入所支援 (者) 施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う |
| | | 自立生活援助 (者) 一人暮らしに必要な理解力・生活力等を補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行う |
| 訓練系・就労系 | 訓練等給付 | 共同生活援助 (者) 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談、入浴、排せつ、食事の介護、日常生活上の援助を行う |
| | | 自立訓練 (機能訓練) (者) 自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能の維持、向上のために必要な訓練を行う |
| | | 自立訓練 (生活訓練) (者) 自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、生活能力の維持、向上のために必要な支援、訓練を行う |
| | | 就労移行支援 (者) 一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う |
| | | 就労継続支援 (A型) (者) 一般企業等での就労が困難な人に、雇用して就労の機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う |
| | | 就労継続支援 (B型) (者) 一般企業等での就労が困難な人に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う |
| 就労定着支援 (者) 一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課題に対応するための支援を行う | | |

上の表は「厚生労働省・障害福祉サービスの概要」に掲載されているもので、障害福祉サービスには以上の制度があります。「生活」を単に入浴、排せつ、食事の場面と限定せず、休日の過ごし方やお金の使い方、社会のルールやマナー、本人らしく生活、生きるという所まで考える必要があるのではないのでしょうか。

また、最近、「自立」を強調する風潮があるようにも思いますが、一人でなんでもできることが自立ではなく、誰かや何かに頼って頼られることが自立なのではと感じます。

どんな生活を営み、どんな人生を送りたいのか、その為に必要な支援は何か、使える支援は何か、ご家族で話すきっかけになればと思います。

私たちの法人では「共同生活援助(グループホーム)」「短期入所(ショートステイ)」がありますが、なかま達の生活をまるっと支えるためには他の制度も利用できるようにしたいところですが、現状では人材確保や運営状況などの面から難しい状況があり、私たちとしても歯がゆい思いをしているところです。

(文責:大石)



共に創るハッピーな未来に向けて！～これまでも これからも～

<賛助会員の方との嬉しいつながりをご報告>

ある日スクラムに一人のお客様がやってきました。改まった雰囲気“私たち何か失礼をしてしまったかな!?”と思った私。しかし、そんな心配はご無用～!「自宅にたくさんタオルがあるんだけど、こちらで使わないかなあと思って尋ねたのですが。」とのこと☆スクラムと同じ西陵地域にお住いの賛助会員として長年応援してくださっている方であることがわかり、一気に不安が安心へと変わったのでした。

賛助会員さんが温かい目で見守っていて下さっていることを改めて感じた出来事でした。また、不安が安心へと変わる、そんなことの積み重ねと関係の拡がりがあるハッピーな未来につながっていくのではないかとも思いました。共にハッピーで安心な社会を築いていく仲間を拡げていきたいそんな思いも新たにしました!このつながりに感謝します☆(文責:見玉)

ハッピーを
応援してるよ!
(上野さん)



～賛助会員さんからのメッセージ～

様々な特性を持つ子ども達に向き合っていくのは容易な事ではないと思います。しかし、ハッピー通信から先生方が子ども達一人一人にしっかり寄り添い、共に成長していられる様子が伝わってきて、いつも頭が下がります。また、一人一人の子どもの想い、個性、強みを見出して「形」になるまで支援をしていられる過程も伝わってきます。そこから「どんな子ども沢山の可能性を持っている」と学ばされます。私自身はスクラムさんとの関わりによって特性を持っている事に対して完全に認識が変わりました。そして、関わりをもつ事の大切さを痛感しています。今後も職員、保護者の方々、何よりも主役である「子ども達の頑張り」に地域住民として精一杯のエールを送り続けたいと思います。

(西陵地域元民生委員坂尾さんより)



【入会方法】振込用紙に、氏名、住所、電話番号、会費種別(個人/団体)をご記入の上、下記口座にお振込みください。その際に、誠に申し訳ありませんが、振り込み手数料をご負担くださいますようお願いいたします。

<口座名義> トクティヒエイリカツドウハウジンハッピー
ダイヒョウシャ ヤマサキヒロノブ

<口座番号> 鹿児島銀行 西陵支店
普通預金 口座番号 545722

お問い合わせ先 NPO 法人ハッピー 099-283-6120 (担当:有村)



<編集後記> ～第22号の発行を終えて～

今回は「繋がり」というテーマでハッピー通信を制作してきました。現在の社会情勢の中では、分断や対立、孤立の構造になりやすいように感じます。そんな中、私たちの日々の活動で子ども、なかま、支援者、保護者、そして地域とのつながりの大切さに改めて目を向けてきました。ハッピー通信を読んでいただき、皆さんの中に新たな気づきや疑問が生まれ、少しでも世界が広がっていただくきっかけになればと思います。(文責:大石)